

平成26年度 事業別予算概要

事業名	52105	畜産関係事務費	予算	会計	1	一般会計	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画		市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します・安定した畜産業を実現するため、飛騨牛を代表とする各種畜産物の全国ブランド化や、アジアを主体とした海外販路の確立を、具体的に進めます。
	款			5	農林水産業費	分野		4	畜産業				
担当課	農政部 畜産課	内線	2239	項	2	畜産業費	基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	実施計画事業	畜産関係事務費	千円	
				目	1	畜産総務費	施策	1	競争力のある生産基盤の整備	H26実施計画額			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖、肉用牛肥育、酪農、養豚、養鶏)	どうしたいのか(意図)	高山市の畜産振興の向上	概要	事業の実施手法(手段)	飛騨畜産振興会の活動支援、畜産物PRのための旅費、畜産委員への報償等
	対象者数	253 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	畜産関係各種団体委員活動謝礼 飛騨畜産振興会負担金(飛騨地域の畜産振興のために、飛騨3市1村及び農協などで構成)						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	畜産関係各種団体委員活動謝礼	件	目標値	33	33	33	33
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	33	33	33	
			達成率(%)	100	100	100	
成果面	肉用牛飼育頭数	頭	目標値	3,700	3,800	3,900	4,000
	算出根拠等		実績(見込)	3,439	3,398	3,428	
補足			達成率(%)	93	89	88	
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	畜産を取り巻く情勢的確な把握及び農業者への情報提供・指導
--------------------------	------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	畜産情勢を注視しながら事業を継続して実施する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	畜産情勢を注視しながら事業を継続して実施する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	918	943	1,253	2,449	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,451	3,727	4,953	9,680	
	受益者	畜産農家	(B)	266	253	253	253

5 予算編成(Action2)

事業内容	畜産振興を図るための一般的な事務経費、飛騨畜産振興会活動支援負担、畜産団体等への報酬	要求のポイント	畜産振興上の必要経費を主体とし、畜産振興団体への支援・報酬等により畜産振興を図る。飛騨牛ラッピングバスの継続	事業実施の課題	関係団体と協力連携を密にし情報収集に努め、畜産情勢を考慮しながら畜産振興を図る
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,253	2,449	1,196	1,053	1,053	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	30	30	0	30	30		
その他	36	36	0	36	36		
一般財源	1,187	2,383	1,196	987	987		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	52207	飛驒牛ブランド振興事業補助金	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画	市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・安定した畜産業を実現するため、飛驒牛を代表とする各種畜産物の全国ブランド化や、アジアを主体とした海外販路の確立を、具体的に進めます。
種別				款	5	農林水産業費		分野	4	畜産業			
担当課	農政部 畜産課	内線	2239	項	2	畜産業費		基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	H26実施計画額	千円	
				目	2	畜産振興費		施策	1	競争力のある生産基盤の整備			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 畜産農家(肉用牛繁殖、肉用牛肥育)	どうしたいのか(意図)	飛驒牛の全共成果を活かした首都圏等内外への農畜産物の販売拡大・販路拡大	概要	事業の実施手法(手段)	飛驒牛の全共成果を活かした首都圏レストランへの高山産食材の売り込み、首都圏レストランでの食材等PRイベント
対象者数	216 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	安全・安心な飛驒牛PRの多岐にわたる実施と地域産粗飼料の利用促進						
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	飛驒牛割引特典券の配布、活用実績(10,000枚配布)	枚	目標値	1,000	860	-	-
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	451	489	-	-
	地域産粗飼料の利用促進によるはざ干し稲わら収集量	ha	達成率(%)	45	57	-	-
成果指標	算出根拠等		目標値	100	100	-	-
	肉用牛飼育頭数	頭	実績(見込)	99	70	-	-
活動指標	算出根拠等		達成率(%)	99	70	-	-
	イベント等による農畜産物の販売店舗増加数	店	目標値	3,700	3,800	3,900	4,000
活動指標	算出根拠等		実績(見込)	3,439	3,398	3,428	-
	イベント等による農畜産物の販売額	千円	達成率(%)	93	89	88	-
補足	算出根拠等		目標値			5	5
			実績(見込)			3	-
補足	算出根拠等		達成率(%)			60	-
			目標値			800	1,000
補足	算出根拠等		実績(見込)			770	-
			達成率(%)			96	-

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	割引券使用地域等にバラつきが見られた。 地域産粗飼料確保緊急対策事業に関して、畜産農家の負担が大きかった。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	震災対策に限らず継続的なPR活動を行い、飛驒牛のブランド力の向上・消費拡大を目指す。	
次年度の実施方針	○維持・改善	震災対策に限らず継続的なPR活動を行い、飛驒牛のブランド力の向上・消費拡大を目指す。 ・事業の効果を検証した上で、農産物とも合わせて飛驒高山ブランド力の向上、生産・販路拡大に取り組む必要がある。 ・市と団体の適正な役割分担が必要である。
	拡大	
	縮小	
	○維持・改善	
二次評価	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	16,889	9,029	1,000	820
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	73,430	41,801	4,630	3,796
	受益者	(B)	230	216	216	216

5 予算編成(Action2)

事業内容	飛驒牛の全共成果を原とした地域内農畜産物の市内外への販売拡大、販路拡大	要求のポイント	・H24～H25に実施した販路拡大事業のフォローアップにより、首都圏における飛驒牛等の地域内農畜産物利用の定着を図る	事業実施の課題	・H24～H25に実施した販路拡大事業のフォローアップにより、首都圏における飛驒牛等の地域内農畜産物利用の定着を図る ・民間の事業主体による事業実施
------	-------------------------------------	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,000	820	△ 180	1,000	1,000	・積算内容を精査 ・飛驒牛の販路拡大に要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0	100	100		
一般財源	1,000	820	△ 180	900	900		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	52215	後継者等肉用牛貸付事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画	市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・肉用牛飼育頭数4千頭を目指します
	款			5	農林水産業費	分野		4	畜産業					
担当課	農政部 畜産課	内線 2239	目	項	2	畜産業費		基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	実施計画事業	後継者等肉用牛貸付事業	H26実施計画額	31,000 千円
				目	2	畜産振興費		施策	3	新たな担い手の確保				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	肉用牛繁殖農家	どうしたいのか (意図)	飛騨牛繁殖基盤の確保並びに拡大を行い畜産基盤の経営安定を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	肉用牛繁殖雌牛の5年間無償貸付
	対象者数	193 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	貸付頭数 60頭							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	成果指標	肉用牛飼育頭数	頭	目標値	3,700	3,800	3,900	4,000
				実績(見込)	3,439	3,398	3,428	
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	93	89	88	
				目標値	75	75	75	75
	成果指標	貸付実施頭数	頭	実績(見込)	75	60	75	
				達成率(%)	100	80	100	
	成果指標	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
	成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
達成率(%)								
補足	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
補足	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	無利子での肉用牛導入費用の貸付だが、一括返済を不安に思う農家が多い。分割での返済を受け付ける方策はないか。高齢化や後継者不足で、畜産農家が毎年減少している。国の補助金が廃止になり、県の補助金と市の積立で基金を造成し対応している。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	繁殖農家の経営にとって有効な事業なので内容等の見直しを視野に入れながら続ける。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	繁殖農家の経営にとって有効な事業なので内容等の見直しを視野に入れながら続ける。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○維持・改善	畜産農家のニーズを踏まえ、増頭目標達成のための効果的な運用を図っていく必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	38,956	25,000	31,000	31,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	194,780	129,534	160,622	160,622
	受益者	肉用牛繁殖農家	(B)	200	193	193

5 予算編成(Action2)

事業内容	肉用繁殖牛を買上げ、5年間無償貸付する ・肉用牛繁殖雌牛後継者等貸付 5百万円(500千円×10頭) ・肉用牛繁殖雌牛高齢者貸付 26百万円(400千円×65頭)	要求の ポイント	飛騨牛繁殖基盤の確保並びに拡大を行い、畜産経営の安定化を図る。	事業 実施の 課題	畜産農家のニーズを踏まえ、増頭目標達成のための効果的な運用を図る必要がある。
------	---	-------------	---------------------------------	-----------------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	31,000	31,000	0	31,000	31,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	31,000	31,000	0	31,000	31,000		
一般財源		0	0				

平成26年度 事業別予算概要

事業名	52220	家畜防疫衛生事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画		市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。畜産業の安定化を実現します。産業としての畜産業を守るため、家畜診療の充実はもとより、管理アドバイス、非常時対策にも対応できる行政の体制強化に取り組みます。
	款			5	農林水産業費	分野		4	畜産業					
担当課	農政部 畜産課		内線	項	2	畜産業費	基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	実施計画事業	家畜防疫衛生事業	H26実施計画額	2,400 千円	
		2239		目	2	畜産振興費		施策	2		安全で安心な畜産物の供給			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖、肉用牛肥育、酪農、養豚、養鶏)	どうしたいのか(意図)	家畜伝染病の発生予防に努め、低コストで高品質な畜産物の安全安心な生産・供給による畜産経営の向上を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 伝染病調査及び発生予防 法定家畜伝染病予防接種補助 家畜伝染病予防消毒事業補助
	対象者数	253 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 伝染病浸潤状況の調査 法定家畜伝染病(鶏ニューカッスル病)予防接種補助 家畜伝染病対策マニュアルの作成及び周知 						
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		法定家畜伝染病予防接種(鶏ニューカッスル病)	羽	目標値	153,000	153,000	150,000	160,000
		実績(見込)	151,580	156,300	153,000			
		算出根拠等	達成率(%)	99	102	102		
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		県外導入豚特定疾病検査(オーエスキー病)	頭	目標値	130	130	130	130
		実績(見込)	2	10	10			
		算出根拠等	達成率(%)	2	8	8		
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
届出伝染病(牛白血病)抗体検査		頭	目標値	2,400	2,400	2,400	2,400	
	実績(見込)	1,598	1,550	1,380				
	算出根拠等	達成率(%)	67	65	58			
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	法定伝染病発生数	件	目標値	0	0	0	0	
	実績(見込)	0	0	0				
	算出根拠等	達成率(%)						
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	肉用牛頭数	頭	目標値	3,700	3,800	3,900	4,000	
	実績(見込)	3,439	3,398	3,428				
	算出根拠等	達成率(%)	93	89	88			
補足	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
			実績(見込)					
	算出根拠等	達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 自衛防疫と市全体での防疫措置とを明確にしコスト削減を図りつつ、極端な縮減は行わず効果的な防疫事業を行う必要がある。 緊急時の防疫対策の備蓄等を検討する必要性あり。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 伝染病予防にかかる生産者への普及啓発及び自衛防疫の徹底 届出伝染病(牛白血病)抗体検査の浸潤状況に基づき、陽性牛の淘汰等の指導措置を講じる 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	今後も引き続き、予防接種の推進、伝染病の浸潤調査を実施し防疫措置を講じていく。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,392	1,153	1,408	2,866
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	5,233	4,557	5,565	11,328
	受益者 畜産農家	(B)	266	253	253	253

5 予算編成(Action2)

事業内容	①家畜伝染病浸潤状況調査(放牧牛における牛白血病等) ②法定伝染病予防補助(ニューカッスル病) ③県外導入豚検査(オーエスキー病) ④消毒薬及び消毒機器等の整備により防疫対策を図る	要求のポイント	家畜伝染病の発生予防を目的とし、全国における動向の把握及び家畜の伝染病浸潤状況調査、消毒薬・消毒機器等の整備による防疫対策及び予防ワクチン接種による自衛防疫の推進をする	事業実施の課題	生産者への防疫意識の向上と通常の自衛防疫の推進を図り防疫対策を推進し、防疫対策マニュアルの周知徹底と見直し等による改訂の必要性の検討 不測の事態を想定した備蓄のあり方
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,408	2,866	1,458	1,433	1,433	・精算内容を精査 ・財務部査定のとおり	
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	1,408	2,866	1,458	1,433	1,433		
一般財源			0				

平成26年度 事業別予算概要

事業名	52225	家畜人工授精事業費	予 算	会計	1	一般会計	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画		市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。畜産業の安定化を実現します。産業としての畜産業を守るため、家畜診療の充実はもとより、管理アドバイス、非常時対策にも対応できる行政の体制強化に取り組みます。
	款			5	農林水産業費	分野		4	畜産業					
担当課	農政部 畜産課	内線	2239	項	2	畜産業費	基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	実施計画事業	家畜人工授精事業			
				目	2	畜産振興費	施策	1	競争力のある生産基盤の整備	H26実施計画額		24,000 千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	・畜産農家(肉用牛繁殖、酪農)	どうしたいのか(意図)	・優良子牛の生産、増頭により改良増殖を推進し、農家の経営安定を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・家畜改良、増殖の推進を図る。 ・和牛、乳牛の家畜人工授精。 ・和牛、乳牛の受精卵移植・採卵
	対象者数	217 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	人工授精 2,934件 受精卵移植 28件 採卵 29件							
成果面	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	成果指標	肉用牛飼育頭数	頭	目標値	3,700	3,800	3,900	4,000
				実績(見込)	3,439	3,398	3,428	
	算出根拠等			達成率(%)	93	89	88	
	活動指標	家畜人工授精手数料	件	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000
				実績(見込)	2,922	2,934	3,000	
	算出根拠等			達成率(%)	97	98	100	
	活動指標	家畜受精卵移植	件	目標値	80	80	80	80
				実績(見込)	65	28	30	
	算出根拠等			達成率(%)	81	35	38	
	活動指標	採卵	件	目標値	40	40	40	40
				実績(見込)	37	29	20	
算出根拠等			達成率(%)	93	73	50		
補足	市での人工授精件数等は微減傾向にあるが、大規模農家等では個人で対応されるため、総数は横ばいであろうと考えられる。		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	生産者の収入増と「飛騨牛」ブランドの更なる躍進のために今後も続けていく必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	「飛騨牛」ブランドの血統をさらに強固なものとして行くため、従来通り専門的知識と技術を持った職員により人工授精業務の総括管理を行った 清見地区については、直営で人工授精業務を行いつつ、AIセンター及び休日対応を行っている賃金職員に委託の可能性を打診した	
次年度の実施方針	○維持・改善	「飛騨牛」ブランドの血統をさらに強固なものとして行くため、従来通り専門的知識と技術を持った職員により人工授精業務の総括管理を行う
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	委託事務の拡大を図る必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	22,581	23,955	24,760	25,880
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	99,916	110,392	114,101	119,263
	受益者	・畜産農家(肉用牛繁殖、酪農)	(B)	226	217	217

5 予算編成(Action2)

事業内容	・優良牛の増産・増頭のための農家支援、最新技術の導入による生産者の収益向上対策 ・家畜人工授精業務委託の継続	要求のポイント	事業実施の課題	広大な高山で「飛騨牛」ブランドを維持・発展させるための家畜人工授精業務の委託の継続、受精卵移植技術の最新技術を導入・取得、優良雌牛の増頭指導
------	---	---------	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	24,760	25,880	1,120	25,250	25,250	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	9,415	9,415	0	9,615	9,615		
一般財源	15,345	16,465	1,120	15,635	15,635		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	52227	繁殖牛舎建設支援事業	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画		市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・肉用牛飼育頭数4千頭を目指します
種別				款	5	農林水産業費		分野	4	畜産業	実施計画事業	繁殖牛舎建設支援事業			
担当課	農政部 畜産課	内線	2239	項	2	畜産業費		基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	H26実施計画額	15,000 千円			
				目	2	畜産振興費		施策	3	畜産関連施設の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	肉用牛繁殖農家	どうしたいのか(意図)	肉用繁殖雌牛飼育頭数4,000頭を目指すため、飛騨牛素畜率の向上と飛騨牛ブランドの拡大を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	牛舎建設を行う生産農家、新規就農者、農事組合法人又は農業生産法人に対し補助する。
	対象者数	193 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	牛舎建設補助 2棟						
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	肉用牛飼育頭数	頭	目標値	3,700	3,800	3,900	4,000
			実績(見込)	3,439	3,398	3,428	
	算出根拠等		達成率(%)	93	89	88	
活動指標	指標名	棟	目標値	3	3	3	3
	繁殖牛舎建設実績		実績(見込)	1	2	3	
	算出根拠等		達成率(%)	33	67	100	
成果面			目標値				
			実績(見込)				
		算出根拠等	達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
		算出根拠等	達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
		算出根拠等	達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
		算出根拠等	達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	制度の周知を図り、利用促進を行う必要がある。また、計画段階で農地転用、建築確認等の手続きを確実にを行うよう指導の必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	計画段階で農地転用、建築確認等の手続きを確実にを行うよう指導している。	
次年度の実施方針	維持・改善	積極的に事業のPRを行い、建設を促す。
	○ 拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	維持・改善	畜産農家のニーズを踏まえ、増頭目標達成のための効果的な運用を図っていく必要がある。
	○ 拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 5,000	10,000	15,000	20,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 5,000,000	5,000,000	7,500,000	6,666,667
	受益者	牛舎建設支援事業補助対象者 (B)	1	2	2

5 予算編成(Action2)

事業内容	繁殖牛舎等の建設を行う生産農家、新規就農者、農事組合法人又は農業生産法人に対する助成。補助率1/2(牛舎上限5,000千円、堆肥舎上限2,500千円)	要求のポイント	肉用繁殖雌牛飼育頭数4,000頭の目標達成のため、基盤となる牛舎建設等を推進する	事業実施の課題	・建設地の転用手続きや建築確認等の事業要件等の建設希望者への制度周知、新規就農者への制度のPR等の事業の積極的なPR方法の検討
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	15,000	20,000	5,000	20,000	20,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	15,000	20,000	5,000	20,000	20,000		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	52230	家畜改良推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画	市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します・安定した畜産業を実現するため、飛騨牛を代表とする各種畜産物の全国ブランド化や、アジアを主体とした海外販路の確立を、具体的に進めます。
種別				款	5	農林水産業費		分野	4	畜産業			
担当課	農政部 畜産課		内線	項	2	畜産業費		基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	H26実施計画額	650 千円	
			2239	目	2	畜産振興費		施策	2	安全で安心な畜産物の供給			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖、肉用牛肥育、酪農、養豚、養鶏)	どうしたいのか(意図)	家畜の改良度や改良の方向性の確認のため各種共進会を開催することにより、畜産物のブランド化及び、農家の意欲向上による増産を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	各種品評会の開催
	対象者数	253 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	市共進会経費等家畜改良事業 全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会負担金)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	成果指標	肉用牛飼育頭数	頭	目標値	3,700	3,800	3,900	4,000
				実績(見込)	3,439	3,398	3,428	
	算出根拠等			達成率(%)	93	89	88	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
達成率(%)								
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	畜産を取り巻く情勢的確な把握及び農業者への情報提供・指導
--------------------------	------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	畜産情勢を注視しながら事業を継続して実施する。	
次年度の実施方針	○維持・改善	県・他市村・JA等関係団体と連携を密に畜産情勢を的確に把握したうえで農業者への情報提供・指導を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	全国的なブランド牛としての地位を確立するため、各種品評会の機会を捉え、市内外への積極的なPR・情報発信を図る必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	1,628	4,533	630	826
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	6,120	17,917	2,490	3,265
	受益者	畜産農家	(B)	266	253	253	253

5 予算編成(Action2)

事業内容	家畜の改良度や改良の方向性の確認のため各種共進会を開催することにより、特産物のブランド化及び農家の意欲向上による増産を図る。	要求のポイント	品評会・共進会等の開催によりレベルアップを図る。 畜産振興アドバイザーの設置	事業実施の課題	畜産振興アドバイザーの効果的な活用
------	--	---------	---	---------	-------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		630	826	196	990	990	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	424	826	402	424	424		
	一般財源	206	0	△ 206	566	566		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	52235	牧場放牧事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画	市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・飼料自給率の向上、新規就農者の確保育成など総合的な畜産業振興策に取り組みます
種別				款	5	農林水産業費		分野	4	畜産業			
担当課	農政部 畜産課		内線	項	2	畜産業費		基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	H26実施計画額	19,200 千円	
			2239	目	2	畜産振興費		施策	1	競争力のある生産基盤の整備			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	肉用牛繁殖農家	どうしたいのか(意図)	・夏山冬里方式の飼養管理として放牧推進を図り、他業との複合経営の確立、飛騨牛の低コスト生産及び増産を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・放牧場の整備、充実を図るとともに、適正な牧場利用調整、推進を行う
	対象者数	204 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	放牧延べ頭数59,134						
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	放牧延べ頭数	頭	目標値	72,000	72,000	72,000	72,000
			実績(見込)	60,385	59,134	59,491	
算出根拠等			達成率(%)	84	82	83	
			目標値				
算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	放牧場施設及び草地の老朽化が目立っており、順次整備していく事により、放牧利用が推進され繁殖牛の増頭及び安定した子牛生産が見込まれ飛騨牛ブランドの躍進が期待される。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	牧場施設・草地の維持管理	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	牧場における家畜伝染病防疫体制の強化
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	指定管理者制度の導入に向け検討していく必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	17,898	17,777	19,770	22,889
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	84,028	87,142	96,912	112,201
	受益者	(B)	213	204	204	204

5 予算編成(Action2)

事業内容	・市営牧場の維持・管理 ・放牧牛の健康管理及び防疫体制の強化 ・放牧施設及び草地の維持管理	要求のポイント	・放牧場内施設の老朽化による修繕費の増 ・家畜伝染病対策等の防疫措置の向上	事業実施の課題	・防疫衛生対策として、家畜伝染病の抗体保因牛と陰性牛を隔離するため、入牧制限が必要となり、使用料に影響する可能性がある。
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	19,770	22,889	3,119	19,770	19,770	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金		0	0				
県支出金		0	0				
その他	10,800	9,357	△ 1,443	10,800	10,800		
一般財源	8,970	13,532	4,562	8,970	8,970		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	52245 種別	優良飛騨牛固定推進事業補助金	予算	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画		市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・安定した畜産業を実現するため、飛騨牛を代表とする各種畜産物の全国ブランド化や、 アジアを主体とした海外販路の確立を、具体的に進めます。
担当課		農政部 畜産課	内線	款	5 農林水産業費	分野	4 畜産業	実施計画事業	優良飛騨牛固定推進事業			
			2239	項	2 畜産業費	基本施策	1 安定した畜産経営を整備する	H26実施計画額	45,000 千円			
				目	2 畜産振興費	施策	1 競争力のある生産基盤の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 畜産農家(肉用牛繁殖、酪農)	どうしたいのか(意図)	・遺伝的に良質な牛肉を生産する能力の高い繁殖牛を保留または導入する。 ・優良な乳用牛の保留または導入による酪農経営の強化。	概要	事業の実施手法(手段)	優良飛騨牛、優良乳用牛増頭に対する補助。(優良雌牛保留対策234千円×150頭、優良飛騨牛増頭推進100千円×50頭、優良乳用牛保留・導入対策35千円×30頭)
	対象者数	217 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	優良雌牛保留対策234千円以内×110頭、 優良飛騨牛増頭推進100千円×50頭、 優良乳用牛保留・導入対策35千円×30頭							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	成果指標	肉用牛繁殖雌牛・乳用牛雌牛飼養頭数	頭	目標値	4,900	4,900	4,900	4,900
				実績(見込)	4,734	4,712	4,712	
	算出根拠等		達成率(%)	97	96	96		
	活動指標	優良雌牛保留・導入頭数	頭	目標値	230	230	230	230
				実績(見込)	187	190	190	
	算出根拠等		達成率(%)	81	83	83		
	補足			目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	条件に当てはまる特別優秀な雌子牛の掘起し、さらなる保留・導入の推進。 高齢化や後継者不足で、畜産農家が毎年減少している。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	条件に当てはまる特別優秀な雌子牛の掘起し、さらなる保留・導入の推進をする。 飼料高騰・景気低迷による畜産経営継続意欲の減退により高齢者及び小規模繁殖経営農家の廃業が進む中、各事業共に優良雌牛の更新・増頭により飛騨牛生産繁殖雌牛及び乳用牛の経営基盤を強化し、畜産の経営安定を図るために必要な事業である。	
次年度の実施方針	○維持・改善	飼料高騰・景気低迷による畜産経営継続意欲の減退により高齢者及び小規模繁殖経営農家の廃業が進む中、優良雌牛の増頭により飛騨牛生産繁殖雌牛及び乳用牛の経営基盤を強化し、畜産の経営安定を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	30,945	31,690	41,150	42,185
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	130,570	146,037	189,631	194,401
	受益者	肉用牛繁殖農家・酪農家	(B)	237	217	217

5 予算編成(Action2)

事業内容	高育種優良雌牛より生産された優良雌子牛を保留又は導入する経費に対する助成 乳用牛経営基盤の強化のための優良な乳用牛を保留又は導入する経費に対する助成	要求のポイント	事業実施の課題	優良な肉用牛・乳用牛の導入保留
------	---	---------	---------	-----------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	41,170	42,185	1,015	41,170	41,170	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	17,550	17,550	0	17,550	17,550		
一般財源	23,620	24,635	1,015	23,620	23,620		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	52247 飛騨牛生産経営安定推進事業補助金	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画		市長公約 3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・肉用牛飼育頭数4千頭を目指します
種別		款	5 農林水産業費	分野	4 畜産業	実施計画事業	飛騨牛生産経営安定推進事業補助金	
担当課	農政部 畜産課	項	2 畜産業費	基本施策	1 安定した畜産経営を整備する	H26実施計画額	900 千円	
	内線 2239	目	2 畜産振興費	施策	1 競争力のある生産基盤の整備			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 肉用牛繁殖農家	どうしたいのか(意図)	子牛生産における事故は繁殖経営に大きな打撃を与えるため通常、飛騨農業共済事務組合が取り扱う家畜共済に加入するが、共済対象外の事故も発生し大きな打撃になることから、そういった事故に備えるように組合員相互で互助制度を行うための基金を造成するので、その基金造成に対し一部を助成する。	概要	事業の実施手法(手段)	高山市和牛改良組合が実施する家畜共済対象外の流死産等の事故(早期の流死産等)に対する互助のための基金造成に対して一部助成する。
	対象者数	204 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	互助事業加入頭数 3,351頭						
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	肉用牛繁殖雌牛飼育頭数	頭	目標値	3,700	3,800	3,900	4,000
	実績(見込)		3,439	3,398	3,428		
	算出根拠等		達成率(%)	93	89	88	
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	互助事業加入頭数	頭	目標値	3,410	3,360	3,600	3,600
	実績(見込)		3,357	3,351	3,600		
	算出根拠等		達成率(%)	98	100	100	
成果面			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
		算出根拠等					
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
		算出根拠等					
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
		算出根拠等					
補足							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	高齢化や後継者不足で、畜産農家が毎年減少している。
--------------------------	---------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	従前どおり継続実施	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	従来通り継続実施
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 608	543	900	900
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2,854	2,662	4,412	4,412
	受益者	(B) 213	204	204	204

5 予算編成(Action2)

事業内容	飛騨牛生産にかかる流死産の互助を実施し、繁殖経営の安定と意欲的な飛騨牛の改良増殖を図るための飛騨牛生産事故見舞基金造成に要する経費	要求のポイント	組合員相互の連携強化と意欲的な「飛騨牛」改良生産強化	事業実施の課題	組合員相互の連携強化と意欲的な「飛騨牛」改良生産強化を図る。
------	---	---------	----------------------------	---------	--------------------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	900	900	0	900	900	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	900	900	0	900	900		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	52250	飛騨食肉センター運営整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをまぎして	根拠計画	市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・安定した畜産業を実現するため、飛騨牛を代表とする各種畜産物の全国ブランド化や、アジアを主体とした海外販路の確立を、具体的に進めます。
種別				款	5	農林水産業費		分野	4	畜産業				
担当課	農政部 畜産課		内線	項	2	畜産業費		基本施策	1	安定した畜産経営を整備する	H26実施計画額	68,555	千円	
			2239	目	2	畜産振興費		施策	3	畜産関連施設の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖、肉用牛肥育、酪農、養豚)	どうしたいのか(意図)	畜産の振興及び安全・安心な食肉の安定供給	概要	事業の実施手法(手段)	・頭部焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担) ・豚と畜ライン停止による近隣と場への輸送費等の助成 ・と畜部門運営経費の一部助成
	対象者数	245 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・頭部焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担) ・豚と畜ライン停止による近隣と場への輸送費等の助成 ・と畜部門運営経費の一部助成 						
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	肥育牛	頭	目標値	6,500	6,500	6,500	6,500
	算出根拠等		実績(見込)	6,218	5,924	5,924	
			達成率(%)	96	91	91	
成果指標	肉豚出荷頭数	頭	目標値	6,620	6,200	6,200	6,200
	算出根拠等		実績(見込)	6,038	5,812	5,800	
			達成率(%)	91	94	94	
成果面			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	食肉センターに対し、高レベルの食肉衛生対策を維持していただくとともに運営の効率化やコスト削減を求めていく必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	各種助成事業の継続実施 食肉センター運営委員会への出席	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	各種助成事業の継続実施 食肉センター運営委員会への出席
	○ 維持・改善	・センターの経営改善を促していく必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	66,531	66,157	68,265	68,265
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	257,872	270,029	278,633	278,633
	受益者	畜産農家	(B)	258	245	245

5 予算編成(Action2)

事業内容	・食肉センター建設事業補助(債務負担)に対する助成 ・運営費に対する助成 ・肉豚出荷に対する助成 ・頭部焼却に対する助成	要求のポイント	事業実施の課題	・食肉の安全安心な供給施設としての維持管理をしつつ、運営の効率化とコスト削減等の推進
------	---	---------	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	68,265	68,265	0	68,265	68,265	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	68,265	68,265	0	68,265	68,265		